

第2回おおさかプラスチック対策推進ネットワーク会議 議事概要

日時：令和元年12月20日（金）15:00～17:30

場所：大阪産業大学 梅田サテライトキャンパス セミナールームA・B

出席者：出席者名簿のとおり

概要

1. 開会

2. 議題

（1）今後のプラスチックごみ対策について

- 事務局より、第1回会議での提案・意見を踏まえた「各主体が今後実施すべき取組（案）」及び「府の新たな取組（案）」について説明。

【主な意見等】

（イベントでの使い捨てプラスチック削減）

- ・リユース食器を使用するイベントに大阪府がのぼりを貸し出せば良い。（花田教授）

（無料給水機の設置）

- ・まず公共機関から給水機を設置すべき。（ごみゼロネット大阪）
- ・東京の「東京水」の取組が先進的。関空では中国人向けに給湯機を置いている。（原田准教授）
- ・水道水を飲む取組を展開すべき。（花田教授）

（ポイ捨て防止）

- ・トラックターミナルに入れなかったトラックが路上駐車したときに、ポイ捨てされるのが問題。長野県の岡谷地域では、企業の取組として、トラックドライバー用の休憩スペースを配送先の工場に設けた事例がある。（原田准教授）

（プラスチックごみの回収）

- ・一旦、ごみが海に出たら回収はほとんど無理なので、府管理河川でのごみ回収も必要。（原田准教授）
- ・岡山県の日生漁協では、漁業者が回収したごみの買取制度を実施しておりうまくいっている。（原田准教授）

（マイバッグの普及啓発）

- ・過去からマイバッグ普及啓発に取り組んできた結果、持参率が7%から30%まで上昇した。レジ袋有料義務化をきっかけに啓発をやめようと考えている。（羽曳野市）
- ・子供用のエコバッグが少ない。エコバッグを回収し、子供用にリメイクする取組もある。（原田准教授）
- ・レジ袋有料化しても、マイバッグを持参しない人は2割程度残るので、レジでリユースバッグを渡すのが良い。（花田教授）
- ・化繊のエコバッグは洗うとマイクロプラスチックが流出してしまうので、天然素材のものを普及すべき。京都府与謝野町がシルク生産の復活に取り組んでいるので、そうした

地域と連携してはどうか。（ごみゼロネット大阪）

（ペットボトルのリサイクル）

- ・セブンイレブンのペットボトル回収に協力できるか許可業者に話をしたところ、有価物だから許可業者が回収すべきではない、府が広域で回収したらどうか、という意見があった。（羽曳野市）
- ・行政の一層の後押しがあるとさらに前に進む。店舗からの回収は一般貨物車でも良いが、ペットボトルを圧縮できるパッカー車のほうが効率的であるため、許可業者が望ましい。（日本フランチャイズチェーン協会）
- ・ペットボトルは、東南アジアの需要が大きくなっていることに加え、国内循環も増えている。将来的にはすべて国内循環させたい。（全国清涼飲料連合会）

（啓発）

- ・堺市の「みんなで進める使い捨てプラスチック削減ガイド」は良い啓発素材。（花田教授）

（清掃活動）

- ・10月末に地域住民に参加していただき河川清掃を実施。（吹田市）
- ・11月の市内一斉クリーンアップ大作戦では9,300人に参加いただき、路上や河川の清掃を実施。（東大阪市）
- ・国の補助金は、内陸部での地域の清掃活動にも使えるので、積極的に活用すべき。（原田准教授）
- ・河川清掃をされている自治会やNPO、建設業者などからよく聞くが、川を流れてくるゴミが一般廃棄物か産業廃棄物かの判断があいまいなため、現場が混乱しているので、解釈を統一すべき。（原田准教授）
- ・府はゴミの解釈について検討してもらいたい。（花田教授）

○ これまでの意見を踏まえて、花田座長から、「海洋プラスチックごみ対策」についての4つの取組を提案。

- ① 海洋プラスチックごみ問題の正しい理解促進に向けた「教材や啓発パンフレットの作成」
- ② プラスチックごみのポイ捨て防止に向けた「プラスチックごみの実態把握」
- ③ 紙等のプラスチック代替品の活用促進に向けた「代替品の開発状況の把握と各主体への代替品活用の働きかけ」
- ④ プラスチックごみの回収促進に向けた「漁業者をはじめとした様々な主体の取組への支援」

（2）府内の取組事例について

関西エアポート株式会社及び泉大津市より、プラスチックごみに関する取組について事例紹介。

【関西エアポート】

「環境計画“One エコエアポート計画”」「空港でのプラスチック利用と処理状況」「空港でのプラスチック対策」などについて紹介。

【泉大津市】

「いずみおおつプラスチックごみゼロ宣言」「ごみ拾いアプリ PIRIKA（ピリカ）」「スポーツ

ゴミ拾い」などについて紹介。

(3) その他

- 全国清涼飲料連合会より、「リサイクルボックス協働回収モデル事業」の実施について情報提供。
- ごみゼロネット大阪より、「天神祭ごみゼロ大作戦 2019 の結果」「水 Do!キャンペーンと Refill Japan」について情報提供。
- 事務局より、今年度の会議での提案・意見を整理し、来年度の府の取組も含め「中間とりまとめ」として、花田教授（座長）の確認のうえ、来年3月までに公表を行うことを説明。
⇒ 花田教授（座長）より、公表にあたって原田准教授にも確認いただくよう提案があり、了承。

3. 閉 会